

びその他の処理方法につきましては、議長に御一任願います。

〔議会議案第35号ないし議会議案第38号は本号末尾参照〕

~~~~~

**○競輪場外車券売り場設置をめぐる念書・同意書の存在と経過及び競輪場外車券売り場設置の代替案に関する調査の件**

○田中展郎議長 次に、日程第14競輪場外車券売り場設置をめぐる念書・同意書の存在と経過及び競輪場外車券売り場設置の代替案に関する調査の件を議題といたします。

~~~~~

○委員長報告

○田中展郎議長 これより、本件に関し、競輪場外車券売り場設置問題に関する調査特別委員会委員長の報告を求めます。

競輪場外車券売り場設置問題に関する調査特別委員会委員長横越徹議員。

〔競輪場外車券売り場設置問題に関する調査特別委員会委員長横越 徹議員登壇〕

(拍手)

○横越 徹競輪場外車券売り場設置問題に関する調査特別委員会委員長 競輪場外車券売り場設置問題に関する調査特別委員会の調査の結果を御報告いたします。

本委員会は、昨年10月28日に設置され、競輪場外車券売り場設置をめぐる念書・同意書の存在と経過に関する事項及び競輪場外車券売り場設置の代替案に関する事項の2件を調査事項として付託されました。また、この調査に当たって、地方自治法第98条第1項並びに第100条第1項及び第10項の権限を付与されたところであります。この間、15回の委員会を開催し、地方自治法第100条第1項に基づく証人として5人の方から証言を得るとともに、必要な記録等の提出を求めました。また、金沢市議会委員会条例第26条の2に基づく参考人として1人の方から意見を聴取するなど、慎重に調査を進めてまいりました。調査結果の詳細につきましては、お手元に配付してあります調査報告書のとおりであります。本委員会としての総括を述べさせていただきます。

1、競輪場外車券売り場設置をめぐる念書・同意

書の存在と経過について。

平成22年10月13日、当時金沢市議会議員であった山野之義氏が、小阪栄進金沢市議会議員の事務所において、競輪場外車券売り場設置に協力する旨の念書に署名したことが発端となっている。この念書への署名について山野市長は、太田氏から選挙支援をもらえるとの思いがあったと証言している。

しかし、正式な立候補の表明前とはいえ、市長に当選した場合、市議会として反対の意思を表明している競輪場外車券売り場の設置に協力する旨の念書に署名したことに加え、その署名をしてある念書ではなく印字された念書に、太田氏の要請によるものではあったが、夫人がかわりに押印したことも把握していなかったことは、事の重要性について認識が欠如しており、適正を欠くものである。

次に、この念書をもとに、平成23年7月19日、山野市長と太田氏が小阪議員のアポイントにより金沢市長室で会談し、競輪場外車券売り場設置に同意する文書の「金沢市長」と印刷されたところに山野市長が署名し、私印を押印したものである。この同意書については、経済産業省への認可申請にかかわる書類として提出されたが、経済産業省から太田氏に対して申請の受け付けに当たって市長の公印をもらうように話があり、また同省から山野市長に対しても市長の公印を押せないかとの問い合わせがあったものである。太田氏は山野市長に対して何度となく公印を押すよう求めたが、最終的に市長の公印が押されることはなく、結果として、当該競輪場外車券売り場は設置されなかった。

加えて、市議会が競輪場外車券売り場に関する請願・陳情の審査など慎重な審議を重ねている中、同意書に署名押印したことを、1年8カ月間にわたって明らかにしなかった。

この経過を踏まえ、46万市民を代表する市長という職は、あらゆる判断を慎重の上にも慎重を期さなければならないにもかかわらず、強く言われたから、念書を書いた後ろめたさがあるからといった理由で「金沢市長」と記されたものに署名し、かつ私印とはいえ押印したことは、思慮を欠く判断である。

2、競輪場外車券売り場設置の代替案について。

本市議会に対して大徳地区に競輪場外車券売り場の設置を求める陳情及び設置に反対する請願または陳情は、平成19年12月議会以降、平成25年3月議会

までの間に11件提出されている。このうち、設置に反対する請願または陳情はいずれも採択され、設置を求める陳情は平成24年12月議会に提出され、継続審査により平成25年3月に意見を付して採択したものを除き、いずれも不採択であった。このような議会の意思があったことから、競輪場外車券売り場の設置に同意する文書に公印を押すことはなかったが、同売り場を設置しようとしていたビルに代替案として、当時、市の懸案事項であった資源回収のストックヤード設置の可能性の提示につながったのではないかと解される。

この代替案について、山野市長は資源回収のストックヤードとして提案し、太田氏は戸室にあるリサイクルプラザと思っていたと両者に認識の違いがあった。山野市長は、太田氏に代替案を提示した後、所管の局長に当該場所にストックヤードが設置可能かどうか確認し、その局長から設置は難しいとの回答を得たことなどにより、代替案の実現に向けて進めていくことはなかった。また、太田氏も、競輪場外車券売り場を設置したいとの強い思いがあり、代替案については希望しておらず、実現できないものと当初から考えていた。したがって、この後、代替案が具体化することはなかったものである。

なお、これら代替案の提示において、丸口副市長の名前が会話の録音記録に出てくるが、同副市長の関与は認められなかった。また、山野市長と太田氏との会談に同席した高岩議員から賃料とおぼしき土地の金額が提示されているが、同議員は、市長と打ち合わせた上での提示ではなく、相場観として話をしたと証言している。しかし、市長が同席した会談において、具体的な金額が出されれば、一般の方々には市が借りる際の賃料と認識する可能性があると考えべきである。

3、意見。

このような行為による問題が再び繰り返されることがないように、本特別委員会として、次の点を踏まえ、関係者に望むものである。

第1に、山野市長にあつては、これら一連の経緯について道義的責任をとって市長の職を退職した後、再度選挙に臨み当選している。しかし、このような行為による問題を起こした政治姿勢についてはみずから厳しく律すべきものと考え。それは、地方自治体の首長にはさまざまな権限が付与され、首長は

大きな権能を有しているからこそ、職責に対して高い倫理観や強い責任感が求められるところであつて、それゆえ、権限を有する市長職にある者は、発展とあまねく市民の福祉向上に全精力を傾きであり、市民に不信感や疑念を生じさせる言動は、いささかなりともあつてはならない。これらを肝に銘じて、二元代表制のもと、職責に対する高い倫理観や責任感を強く持ち、公平かつ公正な市政運営に努められたい。

第2に、本件に関係した議員については、山野市長から関係議員に対して本件への関与を依頼したものであるのではないとされているが、市長と太田氏との面会の仲介や面談時に同席していたことは事実である。また、その活動については平成26年8月28日付議長コメントにおいて、各会派で弁護士を入れて調査した結果、議員活動の一環であり違法性はないとされているが、市長が退職したという重大事に鑑み、関係議員は各会派での処分を受けるとともに、議会における役職をみずから辞任したところである。関係議員にあつては、改めて本市議会基本条例の趣旨を十分踏まえて行動しなければならないことは至極当然である。

これらに加え、二元代表制のもと、我々議員全員も同様に市民の負託を受けた代表者として本市議会基本条例の趣旨をいま一度再認識し、品位と見識を持った議会活動あるいは議員活動を行っていかねなければならない。

なお、証人尋問において、証人個々の証言内容について違いがあると判断される証言が幾つかあつたということを示し添えておく。

以上が本件の調査結果としての総括であります。

最後に、証人または参考人として、調査に御協力いただいた5人の方々を初めとする関係各位、そして非常に厳しい日程の中、精力的に活動していただいた各委員に改めて感謝を申し上げ、委員長報告といたします。

〔競輪場外車券売り場設置問題に関する調査報告書は本号末尾参照〕

○田中展郎議長 委員長報告は終わりました。

競輪場外車券売り場設置問題に関する調査特別委員会は、調査の目的を終了いたしましたので、ただいまの委員長報告をもって廃止といたします。

~~~~~

競輪場外車券売り場設置問題に関する  
調査特別委員会

調査報告書

平成 27 年 3 月 12 日

(写)

## 競輪場外車券売り場設置問題に関する調査特別委員会

## 調査報告書

平成27年3月12日

## 1. 調査の趣旨

金沢市議会では、競輪場外車券売り場に関し、これまで請願・陳情の審査など慎重な審議を重ねてきたが、山野市長が競輪場外車券売り場の設置を求める事業者（以下、「事業者」という。）に対して、設置に協力する旨の念書・同意書に署名や押印をしていたこと、また、競輪場外車券売り場の代替案としてリサイクル施設の設置を提示していたことが、事業者から本市議会に提出された資料等で明らかになった。

このことは、本会議において、この問題に関して市長が繰り返し言ってきた「議会の意思は市民の意思」という答弁と異なるものであり、一事業者との関係にも疑義が残ることから、連合審査会等において、市長及び事業者に対して質問応答を行ってきたが、市長、事業者の認識がそれぞれ異なり、事実解明には至らなかった。

そこで、本市議会としては、市民の市政への信頼を回復するためにも議会みずからが事実を調査解明していく責務があると考え、地方自治法第98条第1項、第100条第1項及び同条第10項の規定による権限に基づき調査を行ったものである。

## 2. 調査に至った経緯

競輪場外車券売り場に関する事項については、平成26年8月28日の議長コメントにおいて、それまでの一連の経過等をまとめており、その内容は以下のとおりである。

競輪場外車券売り場にかかわる件について、これまでの経過を含めて報告させていただきます。

金沢市議会は、競輪場外車券売り場の設置に関し、これまで慎重な審議を重ねてきました。

まず、平成19年12月に「大徳地区における小規模場外車券売り場設置計画に反対を求める請願」を2件受理したことを初めとして、平成24年12月までの間に合計11件の請願・陳情を受理し、各定例会において慎重に審議をしてきました。特に、平成24年12月には、場外車券売り場の開設に対して賛成、反対の相反する陳情が提出されたため、いずれも継続審査とし、平成25年定例第1回市議会最終日の3月25日に、開設に反対する陳情を採択する一方、開設に賛成する陳情については、場外車券売り場の設置場所として文教地区等は対象としない、設置地区住民やその周辺地域の同意が十分得られていることを前提とする、などの意見を付して採択となったものであります。

ところが、翌平成25年3月26日の新聞に、場外車券売り場の開設に同意する文書に平成23年7月19日に市長が署名押印していたことなどが報道されたことから、急遽平成25年3月29日に全員協議会を開催し、市長から事情説明を受けました。このとき山野市長は、「私文書として署名押印した。議会の議論がある中で、大変軽率な行為であったと深く反省している。議会で陳情について結論が出たので明らかにした。なお、これ以上のことは全くない」といった旨の発言をしたところであり、また市長が署名押印した場に小阪栄進議員が同席していたことが明らかになりました。

それにもかかわらず、本年8月8日に自民党金沢支部県市議員会において、場外車券売り場に関して新たな資料が提出され、その資料の中には山野市長が場外車券売り場の代替案を提示したことや、関与した複数市議の名前も記載されていたと報道されました。このことを受け、市議会では代表者会議を開催し、8月18日に全員協議会を行い、改めて山野市長から説明を求めることとしました。

しかしながら、8月18日に山野市長から市長の退職願が議長に提出されたことを受け、急遽代表者会議を開

催し、当日に開催する予定であった全員協議会を中止した上で緊急議会を開催するとの結論に達し、同日、市長の退職に同意したところであります。

市長は8月18日の記者会見で、場外車券売り場の設置に同意する文書に私印ではあるが署名押印したこと、実現しなかったものの場外車券売り場の代替案として資源回収ストックヤードについて相手方に提案したこと、の2点を挙げて道義的責任は大きいとして退職したと述べています。

さて、この件に関し、複数市議が関与していたことについて、各会派の代表者から報告を受けたところ、自由民主党金沢市議会・無所属の会に所属する福田議員、野本議員、高岩議員の3名が、また会派みらいに所属する小阪議員がそれぞれ関与したとのことであります。報告では、福田議員、野本議員及び高岩議員については、場外車券売り場を計画するビル管理会社の元社長と代替案に関して懇談していたこと、さらに高岩議員については、平成24年6月ごろ、市長からこの元社長に代替案を示した場に同席していたとのことであります。また小阪議員については、平成23年7月19日に市長が場外車券売り場設置に同意する文書に署名押印する場に同席していたほか、市長と元社長との面談の場を設けるべく仲介の労をとったものの、金品等の供与を受けた事実はなく、正当な議員活動であるとのことであります。両会派とも弁護士に相談した上で議長宛に報告しており、いずれも議員活動の一環であり違法性はないとされております。しかしながら、市長が辞職したという重大事に鑑み、関係各会派において当該議員への処分がなされるとともに、金沢市議会議員政治倫理要綱に基づくものではないが、福田議員は監査委員及び議会広報委員長の辞任を、野本議員は総務常任委員長の辞任を、高岩議員は国際交流促進金沢市議会議員連盟の理事の辞任を、小阪議員は教育消防常任委員長の辞任をみずから表明したところであります。なお、他の1人会派も含めた会派には関与した議員はいないとのことであります。

以上が、本件の顛末であります。

このことを受けまして、本日平成26年8月28日の代表者会議におきまして、私から各代表者の皆さんに対して次のような趣旨を伝えさせていただきました。議員たる者は、市民から選挙で選ばれ、市民の負託を受けた代表者であることを深く認識し、議会の内外を問わず、市民に不信感を抱かれるような言動は厳に慎むべきである。議会をはじめ市政への信頼回復は、一朝一夕にはならず、地道な努力が必要であり、議員一人一人が一つ一つの職務を誠実にやることしかない。金沢市議会一丸となってこのことに取り組むよう申し上げました。また、各会派の所属議員への周知と徹底もお願いしたところであります。

この間、市民の皆さんをはじめ報道関係の皆さんにもご心配とご迷惑をおかけいたしました。この会見で、報道の皆さんに私のコメントを申し上げるとともに、市議会ホームページに掲載することにより、市民の皆さんをはじめ多くの方々に事柄の顛末をお伝えさせていただきたいと思っております。

最後に、改めて信頼回復に向けて、私を先頭に金沢市議会一丸となって取り組むことを表明し、報告を終えさせていただきます。

平成26年8月28日

金沢市議会議長 田中展郎

このコメントの後、同年9月2日、太田武男氏が山野市長との交渉過程を記録した資料及びやりとりを録音したCDを議会宛てに提出した。このことを受け、代表者会議で対応について検討した結果、本件に関連する総務常任委員会、経済環境常任委員会及び市民福祉常任委員会の連合審査会を開催し、その時点では前市長となった山野之義氏と太田武男氏をいずれも参考人として意見聴取することとなった。同連合審査会は同月12日に開催し、太田氏は出席したが、山野前市長は出席できず、文書での回答となった。

その後、10月5日の市長選挙で山野市長が当選したことを受け、改めて山野市長から直接説明を求めることとなり、10月16日に全員協議会を開催し、山野市長からの説明と質問応答が行われた。また太田氏が提出した、山野市長と太田氏などとのやりとりの録音を山野市長が聞いていなかったことから、同月24日に全員協議会を開催し、山野市長及び全議員で録音の一部を聞いたところである。

一方、10月定例会月議会に議会議案「競輪場外車券売り場設置問題に関する百条調査について」が同月20日までに提出され、同月28日の本会議において無記名投票で採決した結果、賛成多数で可決され、本委員会が設置されたものである。

### 3. 調査特別委員会の設置

#### (1) 調査特別委員会設置決議案

##### 競輪場外車券売り場設置問題に関する百条調査について

山野市長が大徳地区競輪場外車券売り場の設置を求める事業者と交わした念書・同意書、また、その後のリサイクル施設の設置等に関し、本議会として事業者と市長に対して質問応答を行ってきたが、事業者、市長、議会の認識がそれぞれ異なっている。

よって、事実解明がなお必要であると判断し、地方自治法第100条の規定に基づき議会調査権を行使し、調査特別委員会の設置を行うものである。

##### (調査特別委員会の設置)

1. 本議会は、委員12名をもって構成する競輪場外車券売り場設置問題に関する調査特別委員会（以下「調査特別委員会」という。）を設置する。

##### (調査事項)

2. 本議会は、調査特別委員会に対し、地方自治法第100条第1項の規定により次の事項の調査を付託する。

- (1) 競輪場外車券売り場設置をめぐる念書・同意書の存在と経過に関する事項
- (2) 競輪場外車券売り場設置の代替案に関する事項

##### (委任事項)

3. 本議会は、2の調査事項を調査するため、調査特別委員会に次の権限を委任する。

- (1) 地方自治法第100条第1項及び第10項の規定による権限
- (2) 地方自治法第98条第1項の規定による権限

##### (調査経費)

4. 調査のため要する経費の額は、本年度において100万円以内とする。

##### (調査期限)

5. 調査の期限は、2の調査事項に関する調査の終了までとする。

#### (2) 調査事件

- ・競輪場外車券売り場設置をめぐる念書・同意書の存在と経過に関する事項
- ・競輪場外車券売り場設置の代替案に関する事項

#### (3) 調査特別委員会名簿

##### ①委員会名

競輪場外車券売り場設置問題に関する調査特別委員会

##### ②設置年月日

平成26年10月28日

##### ③定数

12名

④委員長、副委員長、委員の氏名

|      |       |    |
|------|-------|----|
| 委員長  | 横越    | 徹  |
| 副委員長 | 田中    | 仁  |
| 委員   | 源野    | 和清 |
| 委員   | 宮崎    | 雅人 |
| 委員   | 小林    | 誠  |
| 委員   | 山本由起子 |    |
| 委員   | 下沢    | 広伸 |
| 委員   | 久保    | 洋子 |
| 委員   | 黒沢    | 和規 |
| 委員   | 新村    | 誠一 |
| 委員   | 玉野    | 道  |
| 委員   | 森尾    | 嘉昭 |

(4) 地方自治法第98条及び第100条（抜粋）

第98条 普通地方公共団体の議会は、当該普通地方公共団体の事務（自治事務にあつては労働委員会及び収用委員会の権限に属する事務で政令で定めるものを除き、法定受託事務にあつては国の安全を害するおそれがあることその他の事由により議会の検査の対象とすることが適当でないものとして政令で定めるものを除く。）に関する書類及び計算書を検閲し、当該普通地方公共団体の長、教育委員会、選挙管理委員会、人事委員会若しくは公平委員会、公安委員会、労働委員会、農業委員会又は監査委員その他法律に基づく委員会又は委員の報告を請求して、当該事務の管理、議決の執行及び出納を検査することができる。

第100条 普通地方公共団体の議会は、当該普通地方公共団体の事務（自治事務にあつては労働委員会及び収用委員会の権限に属する事務で政令で定めるものを除き、法定受託事務にあつては国の安全を害するおそれがあることその他の事由により議会の調査の対象とすることが適当でないものとして政令で定めるものを除く。次項において同じ。）に関する調査を行うことができる。この場合において、当該調査を行うため特に必要があると認めるときは、選挙人その他の関係人の出頭及び証言並びに記録の提出を請求することができる。

2 民事訴訟に関する法令の規定中証人の訊問に関する規定は、この法律に特別の定めがあるものを除くほか、前項後段の規定により議会在当該普通地方公共団体の事務に関する調査のため選挙人その他の関係人の証言を請求する場合に、これを準用する。ただし、過料、罰金、拘留又は勾引に関する規定は、この限りでない。

3 第1項後段の規定により出頭又は記録の提出の請求を受けた選挙人その他の関係人が、正当の理由がないのに、議会に出頭せず若しくは記録を提出しないとき又は証言を拒んだときは、6箇月以下の禁錮又は10万円以下の罰金に処する。

4 議会は、選挙人その他の関係人が公務員たる地位において知り得た事実については、その者から職務上の秘密に属するものである旨の申立を受けたときは、当該官公署の承認がなければ、当該事実に関する証言又は記録の提出を請求することができない。この場合において当該官公署が承認を拒むときは、その理由を説明しなければならない。

5 議会在前項の規定による説明を理由がないと認めるときは、当該官公署に対し、当該証言又は記録の提出が公の利益を害する旨の声明を要求することができる。

- 6 当該官公署が前項の規定による要求を受けた日から20日以内に声明をしないときは、選挙人その他の関係人は、証言又は記録の提出をしなければならない。
- 7 第2項において準用する民事訴訟に関する法令の規定により宣誓した選挙人その他の関係人が虚偽の陳述をしたときは、これを3箇月以上5年以下の禁錮に処する。
- 8 前項の罪を犯した者が議会において調査が終了した旨の議決がある前に自白したときは、その刑を減輕し又は免除することができる。
- 9 議会は、選挙人その他の関係人が、第3項又は第7項の罪を犯したものと認めるときは、告発しなければならない。但し、虚偽の陳述をした選挙人その他の関係人が、議会の調査が終了した旨の議決がある前に自白したときは、告発しないことができる。
- 10 議会が第1項の規定による調査を行うため当該普通地方公共団体の区域内の団体等に対し照会をし又は記録の送付を求めたときは、当該団体等は、その求めに応じなければならない。
- 11 議会は、第1項の規定による調査を行う場合においては、予め、予算の定額の範囲内において、当該調査のため要する経費の額を定めて置かなければならない。その額を超えて経費の支出を必要とするときは、更に議決を経なければならない。

## 4. 調査特別委員会の開催状況

| 回数  | 開催日         | 協議内容等                                                                                          |
|-----|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第1回 | 平成26年10月28日 | ・正副委員長の互選                                                                                      |
| 第2回 | 平成26年11月14日 | ・百条調査について<br>・今後の進め方について<br>・次回の委員会の開催日時について                                                   |
| 第3回 | 平成26年11月20日 | ・第4回委員会における証人尋問について<br>・今後の進め方について<br>・第6回委員会における証人尋問について<br>(1) 出頭を求める者<br>(2) 証言を求める事項の提出期限  |
| 第4回 | 平成26年11月28日 | ・証人尋問（高岩勝人氏、小阪栄進氏）<br>・次回の委員会等について                                                             |
| 第5回 | 平成26年12月4日  | ・第6回委員会における証人尋問について<br>・第8回委員会における証人尋問について<br>(1) 出頭を求める者<br>(2) 証言を求める事項の提出期限                 |
| 第6回 | 平成26年12月12日 | ・証人尋問（山野之義氏）<br>・次回以降の委員会等について                                                                 |
| 第7回 | 平成26年12月18日 | ・第8回委員会における証人尋問について<br>・第10回委員会における証人尋問について<br>(1) 出頭を求める者<br>(2) 証言を求める事項の提出期限<br>・新たな証人等について |
| 第8回 | 平成26年12月25日 | ・証人尋問（丸口邦雄氏）<br>・次回の委員会等について                                                                   |



|      |            |                                                                                                                     |
|------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第9回  | 平成27年1月9日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第10回委員会における証人尋問について</li> <li>・今後の委員会の進め方について</li> </ul>                     |
| 第10回 | 平成27年1月16日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・証人尋問（太田武男氏）</li> <li>・次回の委員会等について</li> </ul>                                |
| 第11回 | 平成27年1月22日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・招致を求める者及び提出を求める記録等について</li> <li>・今後の委員会について</li> </ul>                      |
| 第12回 | 平成27年2月5日  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第13回委員会について</li> <li>・今後の委員会の進め方について</li> </ul>                             |
| 第13回 | 平成27年2月20日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・証人尋問（山野之義氏）</li> <li>・参考人からの意見聴取（山野之義氏）</li> <li>・今後の委員会の進め方について</li> </ul> |
| 第14回 | 平成27年2月23日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査報告書（案）について</li> </ul>                                                     |
| 第15回 | 平成27年3月12日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査報告書（案）について</li> </ul>                                                     |

## 5. 証人、参考人の出席等

## (1) 地方自治法第100条第1項の規定により証人として出頭を求めた者及び証言を求めた事項

| 日付          | 証人として<br>出頭を求めた者     | 証言を求めた事項                                                                                                                                                                |
|-------------|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成26年11月28日 | 高岩 勝人 氏<br>(金沢市議会議員) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・太田武男氏から提出された資料等に関する事項</li> <li>・代替案に関する事項</li> <li>・念書、同意書に関する事項</li> <li>・4年前の市長選挙に関する事項</li> </ul>                            |
|             | 小阪 栄進 氏<br>(金沢市議会議員) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・念書、同意書に関する事項</li> <li>・代替案に関する事項</li> <li>・4年前の市長選挙に関する事項</li> <li>・太田武男氏から提出された資料等に関する事項</li> </ul>                            |
| 平成26年12月12日 | 山野 之義 氏<br>(金沢市長)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・代替案に関する事項</li> <li>・競輪場外車券売り場に関する事項</li> <li>・念書、同意文書に関する事項</li> <li>・4年前の市長選挙に関する事項</li> <li>・太田武男氏から提出された資料等に関する事項</li> </ul> |
| 平成26年12月25日 | 丸口 邦雄 氏<br>(金沢市副市長)  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・代替案に関する事項</li> <li>・念書、同意文書に関する事項</li> <li>・競輪場外車券売り場に関する事項</li> <li>・太田武男氏から提出された資料等に関する事項</li> </ul>                          |
| 平成27年1月16日  | 太田 武男 氏<br>(事業者)     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・代替案に関する事項</li> <li>・念書、同意文書に関する事項</li> </ul>                                                                                    |

|             |                   |                                                                                        |
|-------------|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
|             |                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長選挙に関する事項</li> <li>・提出された資料等に関する事項</li> </ul> |
| 平成27年 2月20日 | 山野 之義 氏<br>(金沢市長) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・念書に関する事項</li> <li>・金銭の授受に関する事項</li> </ul>      |

(2) 金沢市議会委員会条例第26条の2の規定により参考人として出席を求めた者及び意見を求めた事項

| 日付          | 参考人として出席を求めた者     | 意見を求めた事項                                                                                                                             |
|-------------|-------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成27年 2月20日 | 山野 之義 氏<br>(金沢市長) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・念書、同意文書に関する事項</li> <li>・金銭の授受に関する事項</li> <li>・代替案に関する事項</li> <li>・競輪場外車券売り場に関する事項</li> </ul> |

6. 記録の提出

(1) 地方自治法第100条第1項の規定により提出を求めた記録

| 記録の提出を求めた者           | 提出を求めた記録                                                                                                                                                                                              |
|----------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 高岩 勝人 氏<br>(金沢市議会議員) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年11月28日の競輪場外車券売り場設置問題に関する調査特別委員会において高岩勝人証人が代替案の賃料の根拠と証言した高岩勝人証人の父親が所有している土地に関する記録</li> </ul>                                                              |
| 太田 武男 氏<br>(事業者)     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・山野之義氏の署名または押印のある競輪場外車券売り場に関する念書及び同意文書の原本</li> <li>・平成27年1月16日の競輪場外車券売り場設置問題に関する調査特別委員会において太田武男証人が所有していると証言した平成24年3月15日に石川県立中央病院において交わされた会話を録音したデータ</li> </ul> |

なお、平成24年3月15日に石川県立中央病院において交わされた会話を録音したデータについては、太田武男氏より、平成25年8月下旬の引っ越しの際に紛失した旨の書類が提出された。

7. 調査結果

(1) 事件の経過及び相違点

本委員会での証人尋問のほか、本委員会設置以前の全員協議会や常任委員会連合審査会、さらに議会に提出されていた太田武男氏の資料に基づき調査した結果、本件は以下の経過をたどったものと考え、また各項目における証言の相違点等を記載する。

①平成22年10月13日、金沢市元町にあった小阪栄進議員の事務所において、当時金沢市議会議員であった山野之義氏と太田武男氏の両人のみで会った。その際、平成22年11月28日の金沢市長選挙において山野之義氏が当選したとき、サテライト金沢（小規模場外車券売り場）が国によって認可された場合、市長として必要な調整に応じる旨の経済産業大臣宛ての念書に署名したが、その場に山野之義氏は印鑑を持参していなかったため、後

日、押印すると言った。山野氏の証言によると、後日、妻が押したとのことである。また太田氏の証言によると、数日経過しても山野氏から連絡がなかったため、太見総業株式会社代表取締役太田武男宛てと経済産業大臣宛ての計2通の念書を作成し、金沢市議会議員山野之義と印刷した上で、同年10月17日に山野氏の選挙事務所を持って行き、山野氏夫人に経過を説明し、山野氏に確認を取った上で押印してほしいことを伝え、翌日、山野氏夫人が印鑑を持って金沢市元町の小阪栄進議員の事務所で、同夫人が2通に押印したとのことである。

なお押印について、山野氏は自身が押したと証言し、太田氏は山野氏夫人が押したと証言したが、山野氏の2回目の証人尋問において既述のように妻が押したと証言した。

- ②太田武男氏の証言によると、平成22年11月1日または2日、テルメ金沢において、市長選に向けた山野之義氏の後援会の大会があり、その際、太田武男氏はカンパとして住所、氏名を記載した紙とともに1万円を箱に入れた。

※証言の主な相違点1

- ・山野市長：聞いていない。
- ・太田武男氏：1万円をカンパした。
- ・高岩議員：自身が管理する資金には太田氏からの献金はない。

- ③平成23年7月19日、金沢市長室において、山野之義市長と太田武男氏の会談が行われた。この会談は、小阪栄進議員が市長のアポイントをとり、小阪議員も同席した。このとき、競輪場外車券売り場について地元町会の理解を得られていると判断し、太見総業株式会社代表取締役太田武男宛て、競輪場外車券売り場の設置に同意する文書に山野市長が署名し、私印を押印した。

※証言の主な相違点2

- ・山野市長：説明を受けることなく、十分に吟味せず署名押印した。
- ・太田武男氏：4行程度の文書であり、何を意味するかわかるはずである。
- ・小阪議員：時間がない中で署名押印が行われた。

- ④太田武男氏の証言によると、平成23年8月2日、太田武男氏は同年7月19日に山野市長が署名押印した文書とともに競輪場外車券売り場設置申請を経済産業省に対して行った。

- ⑤平成24年3月15日、太田武男氏の兄である太田政孝氏が入院していた県立中央病院の病室に、山野之義市長、小阪栄進議員が別々にお見舞いに来た。そこに太田武男氏が同席していた。太田武男氏は、山野市長が来る前に小阪議員から場外車券売り場の代替案について聞いたと証言したが、小阪議員は覚えていないと証言した。

※証言の主な相違点3

- ・太田武男氏：小阪議員から戸室という名称とともに代替案について話を聞いた。
- ・小阪議員：お見舞いに行ったが、何を話したか記憶にない。

- ⑥平成24年4月6日、「やま田」という店において、太田武男氏、太田政孝氏、高岩勝人議員、福田太郎議員、野本正人議員が会談を行った。太田武男氏から任意で提出のあった資料によると、市長が署名押印した文書の存在を3市議が知り、太田武男氏が競輪場外車券売り場を設置しようとしていたビル（以下「場外車券場予定ビル」という。）に、市の施設を入れることと、その賃料の見込み額等について話があった。

※証言の主な相違点4

- ・太田武男氏：資料にあるやりとりがあった。
- ・高岩議員：そういった会合があり、言葉尻までは覚えていないが、資料が事実であれば事実である。

⑦平成24年5月25日、太田武男氏と高岩勝人議員が会談し、太田氏が代替案は客観的に見て難しいと発言したことから、高岩議員はそれではこの件からおりの旨の発言をした。

⑧太田武男氏の証言によると、平成24年6月4日、民間会社の役員が太田武男氏に対して、代替案について話をし、その中で戸室という名が出ていた。

⑨平成24年6月9日、山野之義市長、太田武男氏、太田政孝氏、高岩勝人議員が会談した。内容は、代替案として場外車券場予定ビルに、当時、市が検討していた資源回収ストックヤード設置の可能性を、市長から初めて太田氏側に提示した。その際、同席した高岩議員から賃料の相場観として、同議員の父親が所有する近隣の土地をもとに月額200万円と発言した。太田氏側は、同日以前に2回ほど代替案について聞いていたが、ストックヤードではなく戸室にあるようなりサイクルプラザと認識して会談していた。また、太田氏側は、競輪場外車券売り場を設置したいと強く願っていたこと、代替案は市の予算が必要であり難しいと考えていた。太田氏側は、最終的には場外車券場予定ビルに職員が調査に入ることを了承したものの、職員が調査に入ったり、太田氏側に連絡を行ったりすることはなかった。

なお、この日に録音によると、市長や議員を交えて、予算の提案や議会審議についても話し合われていた。

※証言の相違点5

- |                                                                                                                                                                                                        |   |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山野市長：初めて代替案を提示した。</li> <li>・ 太田武男氏：これ以前に2回ほど聞いたが、市長からはこの日に聞いた。</li> </ul>                                                                                     | } |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山野市長及び高岩議員：資源回収ストックヤードとして話をした。</li> <li>・ 太田武男氏：戸室にあるリサイクルプラザのような施設として理解をした。</li> </ul>                                                                       | } |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山野市長：賃料について発言していない。</li> <li>・ 高岩議員：賃料というよりも相場観として金額を発言した。</li> <li>・ 太田武男氏：山野市長と高岩議員が一緒に来たので、打ち合わせの上発言していると思い、賃料について高岩議員から発言があったが、市長も了解していると認識した。</li> </ul> | } |

⑩山野之義氏及び丸口邦雄氏の証言によると、平成24年6月9日の後、山野市長は所管局長に場外車券場予定ビルでの資源回収ストックヤードの設置可能性について口頭で尋ねたが、所管局長からは、あの地域は住宅が密集しており、また飲食店もあるので難しい旨の回答がなされた。また、こういったやりとりがあったことを、所管の副市長である丸口副市長に平成24年8月中旬または下旬ころ、所管局長から口頭で報告がなされた。

⑪太田武男氏から任意で提出のあった資料及び録音によると、平成24年8月2日には、山野之義市長、太田武男氏、太田政孝氏の3人が会談し、また同月21日は、山野之義市長、太田武男氏、太田政孝氏、高岩勝人議員が会談し、競輪場外車券売り場や代替案について話し合いが行われた。

⑫その後、山野市長は、代替案について所管局長が難しいと回答していたことなどから話を前に進めることなく具体化せず、またそのことについて山野市長から太田氏側へ連絡を行っていない。

⑬太田武男氏から任意で提出のあった資料及び録音によると、山野市長が、代替案について丸口副市長にお願いしている、丸口副市長はこれらの件を全部知っているとの発言があるものの、山野市長は丸口副市長には何も言っていない、太田氏側に信用してもらうために丸口副市長の名前を出した旨を証言し、丸口副市長は、競輪場外車券売り場に関して市長が何かの文書に私印を押したと聞いたが、それ以外は何も聞いていないと証言した。

## (2) 相違点に係る証言の概要

前述の(1)において、証言の主な相違点を記載しているが、それぞれの証言を以下に記載する。

| 証言の主な相違点1                                                                          | 山野之義証人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 太田武男証人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 高岩勝人証人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 小阪栄進証人                                                                                           |
|------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・山野市長：聞いていない。</p> <p>・太田武男氏：1万円をカンパした。</p> <p>・高岩議員：自身が管理する資金には太田氏からの献金はない。</p> | <p>平成26年12月12日委員会<br/>(横越委員長) 太田氏から金銭の授受はありましたか。<br/>(山野証人) <u>金銭の授受は一切ありません。</u></p> <p>平成27年2月20日委員会<br/>(横越委員長) 太田武男氏から1万円のカンパがあったことは御存じでしたか。<br/>(山野証人) 全く知りません。<br/>(横越委員長) そのような報告も聞いていないということですか。<br/>(山野証人) 全くわかりませんし、<u>全く聞いていません。</u><br/>(横越委員長) 太田武男氏は、先ほどの1万円のカンパ以外にも「思い当たる節がないこともない」と証言していますが、金銭の授受は一切なかったのですか。<br/>(山野証人) 選挙運動の際も、太田さんから、また太田さんのお兄さんからも金銭の授受があった場合、自分たちの思いを遂げることができなくなるので、あなたに献金等はないというふうにはつきりと言われました。私も応援してもらえ</p> | <p>平成27年1月16日委員会<br/>(横越委員長) 証人は、市長選挙を含めて山野市長や関係者に金銭を含む何らかの提供を行いましたか。<br/>(太田証人) 連合審査会では何もなかったというふうなことで申し上げましたけど、私は1点失念しておりまして、平成22年11月の1日か2日だったと思います。選挙のまだ告示前だったと思いますが、いろいろと皆さん一生懸命やっつけらっしゃる中で、たしかテルメというふうなスーパー銭湯みたいなのがございます。そちらのほうに当時の山野候補の後援会の決起大会あるいは後援会の拡大大会的な性質のものが夜の7時ごろからたしかあったと思います。そちらのほうで、今回非常に選挙の資金的なものが余り豊富でないものですから、お志をいただきたいというふうなことを事前に聞いておりましたので、一口1万円というふうなことで、私と兄とそれから私の知人が2人行っておりまして、<u>その場で住所と氏名を書いた紙と</u></p> | <p>平成26年11月28日委員会<br/>(横越委員長) 4年前の市長選挙の際も含めて、太田武男氏は金銭のやりとりは一切ないと話していますが、間違いありませんか。また、あなたを含めて太田氏との間で金銭のやりとりや約束事はなかったですか。<br/>(高岩証人) 私が把握しております資金管理に関しまして、<u>太田さんから金銭の授受があったということは全くありません。</u>私個人に関しましても同様なことが言えます。全くありません。</p> <p>平成26年11月28日委員会<br/>(森尾委員) 最後に、あなたが会計責任者であったということで、委員長の質問に対して、会計責任者ではないと。しかし一部は把握していたということだったんですが、4年前の市長選挙にかかわって、あなたが金庫番だとして扱った金額の規模と、どういう扱い方をしたのか。そして、太田氏からの資金提供はなかったのかどうか。この点、もう一度お話を伺いたいと思い</p> | <p>平成26年11月28日委員会<br/>(横越委員長) あなたを含めて太田氏との間で金銭のやりとりや約束事はなかったのですか。<br/>(小阪証人) <u>一切ありません。</u></p> |

るだけで十分だというふうにも思っていました。また太田さん御自身も9月の連合審査会におきまして、100円玉一個もという表現ではありましたが、おっしゃっておいりました。それは私も全く同じ思いですので、私自身は金銭の授受は一切ありません。

同時に1万円のカンパを、私は1万円、行った仲間が4名ですからちょうど4万円、こういう箱に入れたというふうな記憶がございます。それともう一つ、これは私も連合審査会でそういうふうなことが一切なかったというふうに申し上げたんですが、私の知人が電話をかけてまいりまして、太田、おまえそう言っとるけれども実はそのことを否定する資料がありますよというふうなことを言われて、昨年11月4日にその人のところへ参りましたときに、高岩通信なるもので何らかの形のものを、私もここに今資料として提出しようと思いましたが、そういうふうなことが書いてございました。私は記憶にはないんですが、それがもし事実とすれば、少し記憶を喚起したところ、思い当たる節はないわけではございません。この2点です。

ます。

(高岩証人) 市長選挙のときの金銭につきまして、太田武男さんからの金銭の授受というのは、私が知る限りにおきましては全くありませんでした。それ以外の選挙にかかわる金額の総額であったりとかそういったことに関しましては、私は会計責任者ではありませんのでわかりません。

| 証言の主な相違点2                                                                                                       | 山野之義証人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 太田武男証人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 小阪栄進証人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・山野市長：説明を受けることなく、十分に吟味せず署名押印した。</p> <p>・太田武男氏：4行程度の文書であり、何を意味するかはわからずである。</p> <p>・小阪議員：時間がない中で署名押印が行われた。</p> | <p>平成26年12月12日委員会（横越委員長）先日、小阪証人は同意文書について、山野証人は十分に内容を知り得る状況になかったと証言していますが、それは本当ですか。（山野証人）まず、小阪議員からアポイントメントが入りました。私は、太田さんが同席するということは知りませんでした。また、時間が大変限られた時間でもありました。次の会合も控えておりましたので、<u>十分な意見交換もすることなく、時間が差し迫った中で、その趣旨もきちんと説明を受けることなく署名押印をしてしまいました</u>ので、小阪議員のおっしゃるとおりです。</p> <p>（横越委員長）証人は、文書の内容を吟味せずに署名押印されたのですか。</p> <p>（山野証人）そういうことになります。</p> <p>山野之義参考人</p> <p>平成27年2月20日委員会（横越委員長）同意文書について、お聞きします。（中略）内容について吟味しなかったとは、どういう意味ですか。</p> <p>（山野参考人）前回は申し上げたと思いますけれども、まず<u>時間がなかったということ、そして太田さんの方からあなたには決して迷惑をかけないというお言葉もありました</u>。これは最後に私の方から申し上げたことですが、<u>2人だけの信頼関係の中でというふうに申し上げました</u>。また太田さん御自身もその後の記者会見だったと思いますけれども説明が十分ではなかったというふうにおっしゃっていらっしゃるように、<u>そこで内容について意見交換が</u></p> | <p>平成27年1月16日委員会（横越委員長）山野市長と小阪議員は、同意文書について、時間がない中、十分な説明がなく署名押印がなされた旨の証言をしていますが、事実でしょうか。</p> <p>（太田証人）時間がある、ないというふうなことについての<u>具体的なやりとりはなかった</u>んですが、ごらんのように<u>たったA4の紙に4行、3行半か4行ぐらいの文字ですから、見れば一目瞭然にわかりますし</u>、ああいう市長、それから小阪議員のレベルからして、何を意味するものかというふうなことは歴然とわかるような書面でございますので、そのようなことについては、<u>時間がなかったというふうな、何と申しますか言いわけにはならないような気がします</u>。</p> | <p>平成26年11月28日委員会（小阪証人）今ちょっと思い起こしてみますと、早朝、私の記憶では8時ごろだったと思います。早い時間でした。私は9時から約束がありましたので、長引くと困るという思いがあったんですが、業者は場外車券売り場についての膨大な量の書類を持っておりまして、それをめくりながら市長に説明をしておりまして、当初から時間は限られていて、市長は次行く場が決まっております、何か非常に急いでいるというんですか、市長が慌てているというかそういう様子が見えました。それで、私ははっきりした声で「太田さん、きょうはもう時間ないから、市長は次の約束があるから、きょうはこれで終わりにしましょう」と、言葉は若干違うかもしれませんがそういう思いをその場で言いました。そうしたら業者は、わかった、ほんならきょうはこっぴどきにしようというので、その後、市長も次の用意の準備に立ち上がっておりますが、業者が何かかばんから書類を取り出して、市長のほうへぐるっと回ってテーブルの向こうに行きました。そして何か話をして、署名押印という行為になったわけで、非常に市長は急いでおりました。次の大事な会合があるんじゃないかと私はそのとき思いました。ですから、その場に同席した者として私が思ったのは、<u>内容についての詳しい吟味とか、あるいは確認とか、そういった行為も多分市長はできなかったんじゃないかなというふうに思います</u>。私も目の前で文書は見ておりません。ましてやサイン</p> |

|                                                       |                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><u>あったわけでもない、そういう意味で吟味をしなかったというふうに申し上げました。</u></p> | <p>した文字とかそういうものは見ておりません。ただ、そういった行為があったことは事実です。そして、そういった非常に慌ただしい中で行われて確認が十分できなかった。<u>それは私もそうだし、市長もそうだっただろうというふう</u>に、そのときも今も思っております。</p> |
|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|



| 証言の主な相違点 3                                                                       | 太田武男証人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 小阪栄進証人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・太田武男氏：小阪議員から戸室という名称とともに代替案について話を聞いた。</p> <p>・小阪議員：お見舞いに行ったが、何を話したか記憶にない。</p> | <p>平成27年1月16日委員会<br/>(横越委員長) それでは、代替案について初めて聞いたのはいつですか。<br/>(太田証人) <u>同年の3月15日だった</u>と記憶しております。議会事務局のほうに提出しました資料の中にそれが明記されていると思いますが、中央病院の、<u>兄が入院しております中央病院で、某市会議員といますか小阪栄進市会議員のほうから聞きました。</u></p> <p>平成27年1月16日委員会<br/>(太田証人) 私のほうの認識では<u>戸室というふうな地名を具体的に今ほどお話ししました3月15日</u>、それから6月4日のときに聞いた記憶がございます。したがって、リサイクルプラザ、つまり粗大、大きな冷蔵庫でありますとか家具、その他家電をいわゆるリサイクルするというふうな施設。私のほうのいわゆる管理しておりますビルの建物の性質上、そういうふうなものが入る、あるいは入れれば、物理的にそういうふうなものは可能であると。</p> | <p>平成26年11月28日委員会<br/>(森尾委員) 9月12日の連合審査会の際に、太田武男氏は、この代替案について、兄が入院しております、中央病院に山野市長と小阪さんがいらしたと。それで市長とのやりとりが終わった後、小阪さんのほうから、市長はこのようなことを考えておられるようですよというような耳打ちがされた。ここで初めて代替案について話があったと太田氏が述べております。この太田氏の発言からすると、市長が代替案についてこういうふうと考えているよと、あなたから太田氏にお話がされたとされていますが、これは事実ですか。<br/>(小阪証人) ちょっと日にちとか時間は全く覚えていませんが、県立中央病院に兄が入院しているのという電話がありましたので、私は、顔を知らない人ではないので、お見舞いに行かなければいけないというふうに思いました。誰が来るのかとかそんなことは全く聞いておりませんし。それで病室のほうへ行きましたら、当の入院している兄の方と、そして弟の武男さんと2人おまして、しばらく世間話や病気のことをお尋ねしたりしていたところへ市長がやってきたので、私は市長にも連絡してあったんだと思いました。その後、どんな話をしたのかということは本当に覚えておりません。私のその日の目的はお見舞いだったんです。ですから<u>お見舞いと病気の様子を聞いたことは覚えておりますが、その後のことは本当に申しわけないですが覚えていません。</u></p> <p>平成26年11月28日委員会<br/>(森尾委員) 太田氏のメモがあります。そこにあなたは目を通したと思いますが、この12ページに、この県立中央病院でのやりとりについての記載があります。太田氏のメモによると、山野市長の来る前のこと、小阪市議の話として、市長は代替案としてリサイクルセンターはどうかと言っていると。森副市長は賛成しているが丸口副市長が難色を示しているとか。こういう記述もあるんです。こういうやりとりがされたという太田氏のメモがありますが、これは事実でしょうか。<br/>(小阪証人) 今、メモのことをおっしゃいましたね。今ここにはありませんが、以前、目を通したときに、そういった記述があったことは覚えております。ただ、正直、<u>そういった発言があったということは覚えていません。</u></p> |

| 証言の主な相違点 4                                                                         | 太田武男証人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 高岩勝人証人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・太田武男氏：資料にあるやりとりがあった。</p> <p>・高岩議員：そういった会合があり、言葉尻までは覚えていないが、資料が事実であれば事実である。</p> | <p>平成27年1月16日委員会<br/>(森尾委員) そうすると、4月6日のやま田でのやりとりは記録はないということですが、メモは既に提出をされているんですが、ここで福田市議とのやりとりの中で、この代替案に伴う金額ですね。賃借料が坪七、八千円だけれども、公的なものだったら1万円程度になるんじゃないかと金銭的なやりとりがメモとして残されています。そうすると、この代替案めぐって金額提示というのはここで話されたというふうに理解していいんでしょうか。</p> <p>(太田証人) そこで話したのは、いわゆる市長が選挙に出る前、市長になる前に、あなたと何らかのお約束をなされたというふうなことを聞いておると。それはいろいろ議会の状況、その他もろもろの状況難しいから、市の施設を入れることで納得していただけないかというふうな、具体的にリサイクルプラザであるとか、あるいはストックヤードであるとかというふうなものの名前は出てきませんでした。そのときに、ちなみに多分これは亡くなった兄だと思えますけれども、<u>やりとりの中で市の施設というふうなことになるれば一体坪当たり幾らで借りてくれるのかというような話がありました。そのときに、あのあたりの坪単価の賃賃は幾らぐらいかというふうなことを聞かれましたので、多分、兄が七、八千円だというふうなことを申し上げた</u>ということ記憶があります。</p> | <p>平成26年11月28日委員会<br/>(森尾委員) 次に、この話し合いに先立つ4月6日に、あなたと太田氏と福田市議と野本市議が参加して話し合いが行われています。その際に、ビルの賃賃料についての話し合いなど金銭的な話し合いも行われています。<u>平成24年4月6日に話し合いがあったということは事実ですか。</u></p> <p>(高岩証人) はい、そのとおりです。</p> <p>(森尾委員) 太田氏のメモによると、平成24年4月6日18時から21時30分にやま田というところで、高岩市議、野本市議、福田市議、太田政孝、武男氏との話し合いが行われました。この話し合いの中で、あなたが先ほど証言されたように、平成23年7月19日に山野市長が署名押印していた設置同意文書が3人の市議に提示をされ、3人の市議はこのことを初めて知ったと述べました。これを見た野本市議はショックだと発言し、福田市議はこのことは知らなかったと述べています。そして、この後にテナントの件についての具体的な話し合いが行われたとしてメモは続いています。福田市議、「ビルテナントの広さはどれだけありますか」。太田武男、「1階156坪、2階が約150坪で合計300坪だ」。福田市議、「市は鑑定士を入れて家賃を設定するから民間より家賃は高くなると思う」。太田政孝、「あのあたりの賃賃は坪七、八千円が相場だ」。福田市議、「それなら1万円程度は可能だ」。太田武男、「その他、駐車場も1,000坪はある」。太田政孝、「駐車場は坪約800円ぐらいだ、全部合わせれば」。太田武男、「約350万円になるが」。太田政孝、「それよりも、そんな案件が議会に通せるのか」。高岩市議の発言、「そこは福田さんや私たちに任せてほしい」。福田市議、「3,800億円の予算に紛れ込ませれば難しいことではない、何とかする」。こういうやりとりがあったとする太田氏のメモがありますが、これは事実ですか。</p> <p>(高岩証人) <u>そのメモが事実であれば事実だと思います。そこまで詳細なことは、もう2年半以上前の話ですので、言葉尻までになりますとちょっと覚えていません。</u> そのメモを信じるならば、そのとおりだと思います。</p> |

| 証言の主な相違点 5                                                            | 山野之義証人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 太田武男証人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 高岩勝人証人                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・ 山野市長：初めて代替案を提示した。</p> <p>・ 太田武男氏：これ以前に2回ほど聞いたが、市長からはこの日に聞いた。</p> | <p>平成26年12月12日委員会（横越委員長）そもそも代替案を提示することを考えたのは誰ですか。<br/>（山野証人）代替案を考えたのは、私です。<br/>（横越委員長）それは、いつごろですか。<br/>（山野証人）平成24年6月9日に相手方に提示いたしましたので、その少し前であったと理解しています。</p> <p>平成26年12月12日委員会（横越委員長）その代替案を太田氏に提案する前に、誰かと相談しましたか。<br/>（山野証人）誰とも相談していません。<br/>（横越委員長）代替案は、いつどこで太田氏に提案したのですか。<br/>（山野証人）平成24年6月9日にホテルで太田氏に提案いたしました。</p> | <p>平成27年1月16日委員会（横越委員長）競輪場外車券売り場の代替案と言われているものについてお聞きいたします。証人は、平成24年6月9日の会合で初めて代替案について聞いたのですか。<br/>（太田証人）6月9日以前に2回ほど、その話については口頭でありますけれども聞いております。<br/>（横越委員長）山野市長は、平成24年6月9日に証人に代替案を初めて提示したと証言していますが、違うのですか。<br/>（太田証人）直接市長からお聞きしたのはそのときが初めてでございます。<br/>（横越委員長）それでは、代替案について初めて聞いたのはいつですか。<br/>（太田証人）同年の3月15日だったと記憶しております。議会事務局のほうに提出しました資料の中にそれが明記されていると思いますけれども、中央病院の、兄が入院しておりました中央病院で、某市会議員といいますか小阪栄進市会議員のほうから聞きました。同年6月4日に、民間の会社役員の方で私と親しくされている方からもその話を聞きました。その方は当日、6月4日当日、午後、山野市長と面談の中でその話を聞いたと。ちょうど6時ごろ、私のうちに来られまして、こういうふうな話があると。現在、その場外車券売り場が問題になっているけれども、それを推してやるよりも、市長の言う話だからこれは信用できる話だから、この方向に行ったらどうかというふうな話で終わりました。</p> | <p>平成26年11月28日委員会（横越委員長）競輪場外車券売り場の代替案を太田武男氏に提示することを考えたのは誰ですか。また、代替案を提示することになった理由について教えてください。<br/>（高岩証人）代替案とされるものを提示したのは市長だと思っております。ただ、この提示することになった理由の根拠は、私が思うところによりますと、当時、地元からあの地域に市民センターなどをつくってほしいという要望があったことが私の中でありまして、そのことを市長に伝えたことはあります。</p> |

| 証言の主な相違点5                                                                         | 山野之義証人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 太田武男証人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 高岩勝人証人                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・山野市長及び高岩議員：資源回収ストックヤードとして話をした。</p> <p>・太田武男氏：戸室にあるリサイクルプラザのような施設として理解をした。</p> | <p>平成26年12月12日委員会（横越委員長）最初の代替案の内容は何ですか。当初からリサイクル施設だったのですか。</p> <p>（山野証人）平成24年6月9日に私が太田さんに提示いたしましたのは、<u>最初から資源回収ストックヤードの設置の可能性について御提案いたしました。</u></p> <p>（横越委員長）代替案のリサイクル施設とはどのような施設を考えていたのですか。スーパーなどにあるストックヤードのようなものですか。それとも戸室にあるリサイクルプラザのような施設ですか。</p> <p>（山野証人）<u>資源回収のストックヤードのことについて考えていました。そのことを御提案いたしました。</u></p> | <p>平成27年1月16日委員会（横越委員長）証人は、代替案についてどのような施設だと認識していたのですか。戸室にあるリサイクルプラザのような施設ですか、それとも資源回収のストックヤードですか。</p> <p>（太田証人）私のほうの認識では<u>戸室というふうな地名を具体的に今ほどお話ししました3月15日、それから6月4日のときに聞いた記憶がございます。したがって、リサイクルプラザ、つまり粗大、大きな冷蔵庫でありますとか家具、その他家電をいわゆるリサイクルするというふうな施設。</u>私のほうのいわゆる管理しておりましたビルの建物の性質上、そういうふうなものが入る、あるいは入れれば、物理的にそういうふうなものは可能であると。リサイクルプラザという話は……、失礼しました。ストックヤードですね。その話は後に市長が証人喚問に入る前の全員協議会ですか、そのときに初めて口になさった言葉で、6月9日のときに具体的にストックヤードあるいはリサイクルプラザというふうなそういう固有名詞的なものは出なかった。私はあくまでリサイクルプラザの話がその場で行われているというふうに理解しておりましたし、そういうふうなことだと思っておりました。</p> <p>（横越委員長）山野市長は、代替案は資源回収のストックヤードとして話したと証言されていますが、証人はなぜリサイクルプラザだと思ったのでしょうか。</p> <p>（太田証人）理由は、今申し上げたとおりでございます。</p> | <p>平成26年11月28日委員会（横越委員長）それでは、代替案のリサイクル施設とはどのような施設を考えていたのですか。市長が言っているようなスーパーなどにあるストックヤードのようなものですか。それとも戸室にあるリサイクルプラザのような施設ですか。</p> <p>（高岩証人）もともとこの代替案とされるものの提案者ではないので、当初どのようなものだったかというのは不明確であります。私が聞いておるところによりますと、<u>資源回収の一時保管所という理解でございました。</u></p> |

| 証言の主な相違点5                                                                                                                                               | 山野之義証人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 太田武男証人                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 高岩勝人証人                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>・ 山野市長：賃料について発言していない。</p> <p>・ 高岩議員：賃料というよりも相場観として金額を発言した。</p> <p>・ 太田武男氏：山野市長と高岩議員が一緒に来たので、打ち合わせの上発言していると思い、賃料について高岩議員から発言があったが、市長も了解していると認識した。</p> | <p>平成26年12月12日委員会（横越委員長）リサイクル施設の賃料について、最初に数字を示したのは誰ですか。</p> <p>（山野証人）私が知っている範囲では、平成24年6月9日にいろいろ議論させていただいているときに、<u>高岩議員のほうから、高岩議員のお父様が近隣に同様の地面を持っているということで、そのときの相場観から金額をお話した</u>ことは理解しています。</p> <p>（横越委員長）平成24年6月9日の話し合いにおいて高岩議員が代替案の賃料について発言していますが、間違いないですか。</p> <p>（山野証人）代替案というよりも、今ほど申し上げましたように、高岩議員のお父様が近くに地面を持っていると。その地面のことについて、あのあたりの相場観として話したというふうに理解しています。</p> <p>（横越委員長）高岩議員が代替案の賃料を提示した際、証人は不動産鑑定士を入れると発言していますが、これは高岩議員の提示した賃料の算定根拠を補足したものでですか、それとも高岩議員に対して教えたものでですか。どちらでしょうか。</p> <p>（山野証人）高岩議員は、近くに持っているお父様の地面のことをもとにお話されました。ただ、そういうもので値段が決まっていくものではありませんので、<u>行政がかかわっていくときには不動産鑑定士に入っただいてやっていくものだ</u>ということを一般論として申し上げました。</p> | <p>平成27年1月16日委員会（横越委員長）平成24年6月9日の会合において、高岩議員が証人に対して賃料について発言しています。そのことについて、証人は9月の連合審査会において、「市長から賃料の値段の提示があったと理解した」と発言していますが、なぜそのように思ったのでしょうか。</p> <p>（太田証人）6月9日に、市長とそれから高岩議員、それと私の兄と私が市内のホテルで面談したときに、冒頭に高岩議員のほうから、きょうは市長に来ていただいて、あなた方に代替案——代替案とはおっしゃられませんでした。これからする話はこちらのほうをお願いするといひますか、そういうふうな話に進展していくというふうなことです。ですからというふうな前置きがありましたものですから、<u>2人そろっていらっしやったということはある程度そこに意思の統一があったというふうに理解しておりましたので、高岩議員のおっしゃることとは市長のおっしゃることというふうに理解した</u>というのが本当のところでございます。</p> | <p>平成26年11月28日委員会（横越委員長）その会合の際に、証人から太田氏側に証言のあった施設についての賃料を提示していますが、間違いありませんか。</p> <p>（高岩証人）賃料の提示というのは少しニュアンスが違っておりました。太田武男さんだったと思いますけれども、<u>あのあたりをもし借りるといふことになれば幾らくらいになりますかねという質問がありましたので、200万円くらいじゃないですかねというふうにお答えしました。</u></p> |

## 8. 総括

これまでの調査結果を踏まえ、本委員会として以下のとおり総括する。

### (1) 競輪場外車券売り場設置をめぐる念書・同意書の存在と経過について

平成22年10月13日、当時金沢市議会議員であった山野之義氏が、小阪栄進金沢市議会議員の事務所において、競輪場外車券売り場設置に協力する旨の念書に署名したことが発端となっている。この念書への署名について山野市長は、太田氏から選挙支援をもらえるとの思いがあったと証言している。

しかし、正式な立候補の表明前とはいえ、市長に当選した場合、市議会として反対の意思を表明している競輪場外車券売り場の設置に協力する旨の念書に署名したことに加え、その署名をしてある念書ではなく印字された念書に、太田氏の要請によるものではあったが、夫人がかわりに押印したことも把握していなかったことは、事の重要性について認識が欠如しており、適正を欠くものである。

次に、この念書をもとに、平成23年7月19日、山野市長と太田氏が小阪議員のアポイントにより金沢市長室で会談し、競輪場外車券売り場設置に同意する文書の「金沢市長」と印刷されたところに山野市長が署名し、私印を押印したものである。この同意書については、経済産業省への認可申請にかかわる書類として提出されたが、経済産業省から太田氏に対して申請の受付に当たって市長の公印をもらうように話があり、また同省から山野市長に対しても市長の公印を押せないかとの問い合わせがあったものである。太田氏は山野市長に対して何度となく公印を押すよう求めたが、最終的に市長の公印が押されることはなく、結果として、当該競輪場外車券売り場は設置されなかった。

加えて、市議会が競輪場外車券売り場に関する請願・陳情の審査など慎重な審議を重ねている中、同意書に署名押印したことを、1年8カ月間にわたって明らかにしなかった。

この経過を踏まえ、46万市民を代表する市長という職は、あらゆる判断を慎重の上にも慎重を期さなければならないにもかかわらず、強く言われたから、念書を書いた後ろめたさがあるからといった理由で「金沢市長」と記されたものに署名し、かつ私印とはいえ押印したことは、思慮を欠く判断である。

### (2) 競輪場外車券売り場設置の代替案について

本市議会に対して大徳地区に競輪場外車券売り場の設置を求める陳情及び設置に反対する請願または陳情は、平成19年12月議会以降、平成25年3月議会までの間に11件提出されている。このうち、設置に反対する請願または陳情はいずれも採択され、設置を求める陳情は平成24年12月議会に提出され、継続審査により平成25年3月に意見を付して採択したものを除き、いずれも不採択であった。このような議会の意思があったことから、競輪場外車券売り場の設置に同意する文書に公印を押すことはなかったが、同売り場を設置しようとしていたビルに代替案として、当時、市の懸案事項であった資源回収のストックヤード設置の可能性の提示につながったのではないかと解される。

この代替案について、山野市長は資源回収のストックヤードとして提案し、太田氏は戸室にあるリサイクルプラザと想っていたと両者に認識の違いがあった。山野市長は、太田氏に代替案を提示した後、所管の局長に当該場所にストックヤードが設置可能かどうか確認し、その局長から設置は難しいとの回答を得たことなどにより、代替案の実現に向けて進めていくことはなかった。また太田氏も、競輪場外車券売り場を設置したいとの強い思いがあり、代替案については希望しておらず、実現できないものと当初から考えていた。したがって、この後、代替案が具体化することはなかったものである。

なお、これら代替案の提示において、丸口副市長の名前が会話の録音記録に出てくるが、同副市長の関与は認められなかった。また、山野市長と太田氏との会談に同席した高岩議員から賃料とおぼしき土地の金額が提示されているが、同議員は、市長と打ち合わせた上での提示ではなく、相場観として話をしたと証言している。

しかし、市長が同席した会談において、具体的な金額が出されれば一般の方々には市が借りる際の賃料と認識する可能性があると考えらるべきである。

### (3) 意見

このような行為による問題が再び繰り返されないことがないよう、本特別委員会として、次の点を踏まえ、関係者に望むものである。

① 山野市長にあっては、これら一連の経緯について道義的責任をとって市長の職を退職した後、再度選挙に臨み当選している。しかし、このような行為による問題を起こした政治姿勢についてはみずから厳しく律すべきものと考えらる。それは、地方自治体の首長にはさまざまな権限が付与され、首長は大きな権能を有しているからこそ、職責に対して高い倫理観や強い責任感が求められるところである。それゆえ、権限を有する市長職にある者は、市勢の発展とあまねく市民の福祉向上に全精力を傾注すべきであり、市民に不信感や疑念を生じさせる言動は、いささかなりともあってはならない。これらを肝に銘じて、二元代表制のもと、職責に対する高い倫理観や責任感を強く持ち、公平かつ公正な市政運営に努められたい。

② 本件に関係した議員については、山野市長から関係議員に対して本件への関与を依頼したものではないとされているが、市長と太田氏との面会の仲介や面談時に同席していたことは事実である。また、その活動については平成26年8月28日付け議長コメントにおいて、各会派で弁護士を入れて調査した結果、議員活動の一環であり違法性はないとされているが、市長が退職したという重大事に鑑み、関係議員は各会派での処分を受けるとともに、議会における役職をみずから辞任したところである。

関係議員にあっては、改めて本市議会基本条例の趣旨を十分踏まえて行動しなければならないことは至極当然である。

これらに加え、二元代表制のもと、我々議員全員も同様に市民の負託を受けた代表者として本市議会基本条例の趣旨をいま一度再認識し、品位と見識を持った議会活動あるいは議員活動を行っていかなければならない。

なお、証人尋問において、証人個々の証言内容について違いがあると判断される証言が幾つかあったということを示し添えておく。

以上で、本件の調査結果としての総括とし、調査報告書とする。

## 9. 調査経費

### (1) 議決経費

平成26年度においては、100万円以内とする。

(平成26年10月28日議決)

### (2) 決算

次表のとおり

| 区分  | 内容       | 支出額      |
|-----|----------|----------|
| 報償費 | 弁護士相談料   | 75,600円  |
| 旅費  | 会議出席費用弁償 | 496,000円 |
| 需用費 | 飲料購入費    | 1,900円   |
| 委託料 | 委員会記録反訳料 | 380,700円 |
| 計   |          | 954,200円 |

## 10. その他

## (1) 選任弁護士

調査特別委員会における法律相談等を行うため金沢弁護士会へ弁護士の推薦を依頼した。

## ① 弁護士

内田 清隆（金沢市大手町7-13）

## ② 相談事項

- ・地方自治法第100条第1項に基づく関係人等の出頭、証人尋問、記録の提出等に当たって、関係法令の規定に合っているかどうか。
- ・その他、当該調査に必要な事項。